

氏名	飯岡由紀子	部署	研究開発センター	職名	教授
研究分野	臨床看護学、がん看護学、看護教育、Women's Health、慢性期看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	聖路加看護大学看護学部看護学科、聖路加看護大学看護学研究科博士前期課程、聖路加看護大学看護学研究科博士後期課程				
経歴	兵庫県立看護大学、聖路加看護大学、東京女子医科大学看護学部				
所属学会（役職）	日本女性心身医学会（理事）、聖路加看護学会（理事）、日本女性医学学会（幹事）、日本看護科学学会（代議員）、日本がん看護学会（代議員）、日本看護学教育学会（評議員）、日本緩和医療学会、日本乳癌学会、母性衛生学会、精神保健看護学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	ホルモン補充療法ガイドライン	共著	あり	金原出版株式会社；p200	日本女性医学学会編集・監修 検討委員会：樋口毅、江川美保、金井雄二、倉澤健太郎、篠原康一、高松潔、寺内公一、横田めぐみ、若槻明彦 作成委員：東浩太郎、飯野香理、伊藤加代子、岩佐武、岩瀬明、大石元、大島乃理子、岡野浩哉、小川真里子、尾林聡、加藤育民、河野宏明、北島道夫、倉林工、甲賀かをり、小林範子、古山将康、佐々木浩、佐藤美紀子、澤田健太郎、谷口文紀、中田真木、中塚幹也、西尾永司、西ヶ谷順子、橋本和法、平池修、平沢晃、藤野敬史、牧田和也、松下宏、宮崎亮一郎、宮原富士子、望月善子、森泰輔、横山良仁、吉沢剛 評価委員：北脇城、久保田俊郎、甲村弘子、野崎雅裕、安井敏之、 <u>飯岡由紀子</u> 、千場直美、若林由香子、三羽良枝	2025. 5
2	ケアの基盤をつくる　がん看護　実践を支えるキーワード70	共著	あり	南江堂；p256	編集：藤田佐和 著者：荒尾晴恵、山本瀬奈、森文子、青木美和、中濱洋子、遠藤和代、武田千津、川崎優子、高橋佳子、渡邊知映、森下幸子、矢ヶ崎香、入江佳子、後藤志保、朝鍋美保子、永井康美、松山円、市川智里、藤川直美、内田恵、富崎ゆかり、上間美夕紀、平田佳子、萩原翔太、島田いつみ、熊谷靖代、児玉美由紀、増島麻里子、田代真理、鈴木久美、南口陽子、村上好恵、佐々木千幸、關本翌子、近藤恵子、川村真澄、高見紀子、林直子、稲村直子、橋本久美子、青木早苗、丸光恵、高山裕子、坂本はと恵、藤原由佳、前原朝美、嶋中ますみ、小澤桂子、田中圭、吉田美由紀、高山良子、中村麻美、川村三希子、千崎美登子、片岡純、北添可奈子、田墨恵子、近田藍、竹之内沙弥香、新幡智子、今井芳枝、阪本朋香、脇谷美由紀、近藤まゆみ、中村めぐみ、小澤若菜、遠藤久美、 <u>飯岡由紀子</u>	2026. 3

(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Menopause Education Programs for Healthcare Professionals based on the Japanese Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology	共著	あり		journal of menopausal medicine 31(2):110-119 doi: 10.6118/jmm.25105.	Mariko Ogawa, Asuka Hirose, Wakana Soeda, Emiko Nishioka, Yukiko Iioka, Masakazu Terauchi, Masahiro Hashizume, Kiyoshi Takamatsu, and Takashi Takeda	2025.8
2	更年期障害患者への意思決定支援とヘルスケア支援：看護カウンセリングの場面から	単著	なし		女性心身医 第30巻 3号 334-339	飯岡由紀子	2026.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	更年期女性の睡眠の実態と看護カウンセリング	単独	第49回睡眠学会		○飯岡由紀子		2025.6
2	緩和医療に関する多職種カンファレンスのアプローチーリフレクションマッププログラム（RMP）の活用ー	共同	第30回日本緩和医療学会学術大会		○飯岡由紀子、渡邊直美、高山裕子、田代真理、廣田千穂、木原円子、久保田まりえ		2025.7
3	多職種からみた更年期障害への取り組み 更年期障害患者への意思決定支援とヘルスケア支援 看護カウンセリングの場面から	単独	第53回日本女性心身医学会学術集会・第40回日本女性心身医学会研修会		○飯岡由紀子		2025.7
4	臨床における"看護職の調整力"を考える	共同	第29回日本看護管理学会学術集会		○飯岡由紀子、辻恵子、渡邊恵		2025.8
5	リフレクションにおけるファシリテーターの役割：リフレクションマッププログラム（答えは自分の体験の中にある）に焦点をあてて	単独	第29回日本看護管理学会学術集会		○飯岡由紀子		2025.8
6	看護系大学的女子学生の月経前症状と健康関連習慣・ヘルスリテラシーの関連	共同	第40回 日本女性医学学会学術集会		○飯岡由紀子、小川真里子、五十嵐ゆかり、武田卓		2025.11
7	看護のコンピテンシー：看護職の調整力とは	共同	第45回日本看護科学学会学術集会		○飯岡由紀子、辻恵子、渡邊恵		2025.12
8	精神科看護師の段階的コンピテンシー行動評価指標の開発	共同	第45回日本看護科学学会学術集会		○小川千恵子、飯岡由紀子		2025.12
9	がん診療連携拠点病院におけるがん看護外来の看護実践と課題：2016年調査との比較による検討	共同	第40回日本がん看護学会学術集会		○久保田まりえ、飯岡由紀子		2026.2
10	AYA世代がんサバイバーの療養生活におけるSNSとつながる体験	共同	第40回日本がん看護学会学術集会		○原島まどか、飯岡由紀子、大場良子		2026.2
11	リフレクションプロセスを支援するファシリテーターの役割と心理的負担	共同	第40回日本がん看護学会学術集会		○飯岡由紀子、渡邊直美、高山裕子、田代真理、廣田千穂、木原円子、久保田まりえ		2026.2
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	更年期指導士教材開発 「意思決定支援とセルフケア支援」	単著	日本女性心身医学会		○飯岡由紀子		2025年7月
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省研究費（基盤研究B）	経験学習を導くRPGを活用した看護職の調整力向上教育教材の開発と効果の検証			研究代表者		2025-2029

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	がん看護学概論	○	15	がん看護領域において基盤となる理論・概念について理解を深めることを目標とした。多様な書籍や文献を用いて分析的かつ批判的に検討できるようにした。
2	看護研究	○	9	看護の向上や発展をはかるために必要な看護研究の方法に関する基礎的知識・技術を理解し、看護学における研究の役割や研究プロセス、研究成果の臨床への適応について理解する。
3	看護倫理	○	8	保健医療福祉分野において、看護の実践・研究・教育を探究するために必須となる理論的基盤について学術的に考察する。
4	がん看護学援助論Ⅰ	○	15	がん看護専門看護師としての役割を遂行するために必要な知識、技術、態度と、専門職との連携についての理解を深める。多様な専門看護師を非常勤講師として招聘し、実践的な知識の修得に努めた。
5	がん看護学援助論Ⅱ	○	11	緩和ケア、特に終末期ケアに焦点を当て、スピリチュアルケアや意思決定支援、看取りケアなどに関する理解を深める。また、地域や多職種チームでの看護実践についての学びから、がん看護専門看護師の役割を考究する。
6	がん看護学援助論Ⅲ	○	15	がん患者の生活の再構築や治療と生活の両立を促進するための看護を学ぶことを目標とした。薬物療法、放射線療法の専門家からの講義の他、フィールドワークも行い理解を深めるようにした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	がん実践看護実習Ⅰ	○	学外実習：2週間	がん医療の連携・協働のあり方を検討するため、訪問看護ステーションと大学病院の地域連携部署の両側面から理解を深めるようにした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2025年4月～ 2026年3月	主指導（指導教員）7名	副指導（指導補助教員）名
2	博士論文	2025年4月～ 2026年3月	主指導（指導教員）4名	副指導（指導補助教員）1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	慶應義塾大学 非常勤講師	2025年10月	助産師専攻学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
2	上智大学 非常勤講師	2025年5月	助産師専攻科学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
3	東京医療保健大学 大学院非常勤講師	2025年4月～5月	看護学研究科大学院生の看護研究と研究手法の理解を深める。	
4	聖路加国際大学 大学院非常勤講師	2025年11月	大学院ウィメンズヘルス専攻学生に、更年期医療とケアの理解を深める。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	講演会	vivola株式会社	婦人科外科診療における意思決定支援	2025.6
2	研修会	獨協医科大学埼玉医療センター	看護研究Ⅰ 研修	2025.7
3	研修会	日本女性心身医学会	日本女性心身医学会認定 更年期指導士養成講座 意思決定支援とヘルスケア支援	2025.8

4	研修会	日本がん看護学会	日本がん看護学会 編集委員会主催研修会 実りある査読をするためのヒントを得よう！－査読のポイントとフィードバックのコツ－	2025.8
5	研修会	EOLリフレクション研究会	Reflection-Map Program ファシリテーター研修	2025.10
6	研修会	名古屋ハートセンター	看護師の調整力向上プログラム	2025.10-11
7	講演会	日本睡眠協会	ゆらぎ世代の女性を支える職場へー睡眠改善がもたらす健康経営－	2026.1
8	講演会	埼玉県立がんセンター	リッチなデータを収集するためのインタビュー	2026.1
9	研修会	埼玉県立大学オープンカレッジ	看護師に求められる調整力を考えよう！	2026.1
10	FD研修会	武蔵野大学	概念分析～その方法と実際～	2026.2
11	研修会	EOLリフレクション研究会	Reflection-Map Program ファシリテーター研修	2026.3
12	FD研修会	宮崎県立大学	査読プロセスを知る・活かすー著者としての心得-	2026.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本看護学教育学会		研究推進・研究助成委員会	2021.6～現在
2	日本女性心身医学会		認定研修委員会	2025.6～現在
3	日本女性医学会		編集委員会	2021.4～現在
4	日本女性医学会		専門医審査委員会	2021.4～現在
5	日本女性医学会		リエゾン委員会	2021.4～現在
6	日本女性医学会		教育委員会	2025.10～現在
7	聖路加看護学会		広報委員会	2024.6～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	ラジオNIKKEI	漢方トゥデイ「更年期と漢方：基礎編、応用編」		2025.10
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進部会		2025.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			